

第4回 地震・地震動検討会 議事録

1. 開催日時：平成18年 6月 12日(月) 15:00～16:00

2. 開催場所：(社)日本電気協会 4階 D会議室

3. 出席者：(順不同, 敬称略)

委員：翠川主査(東京工業大学), 久野幹事・梅木(中部電力), 佐伯(北海道電力), 尾形(東北電力), 八代(東京電力), 小笹(北陸電力), 伏見(関西電力), 阿比留(中国電力), 高橋(四国電力), 園(九州電力), 仲田(電源開発), 壇(清水建設), 佐藤(電中研) (計14名)

代理出席：生玉(日本原子力発電・阿部代理) (計1名)

オブザーバ：岡崎(関西電力), 田中(原子力安全基盤機構), 菊地(東電設計), 稲妻(日本原燃) (計4名)

事務局：荒木(日本電気協会) (計1名)

4. 配布資料

資料 No. 4 - 1 第3回 地震・地震動検討会議事録(案)

資料 No. 4 - 2 - 1 原子力発電所耐震設計技術指針 基準地震動策定(案)
第12回耐震設計分科会でのコメント対応案

資料 No. 4 - 2 - 2 原子力発電所耐震設計技術指針第3章 基準地震動策定(案)

資料 No. 4 - 3 改訂指針案とJ E A G改定案の対応について

5. 議事

(1) 出席者及び前回議事録(案)の確認

事務局より、本日の代理出席者1名について、規約に基づき翠川主査の承認を頂いた。また、代理出席を含む出席委員は15名であり、規約上、決議に際して求められる委員総数の2/3以上の出席であることが報告された。

また、事務局より前回議事録(案)の紹介を行い、出席者全員の賛成で了承された。

(2) 原子力発電所耐震設計技術指針 基準地震動策定(案)について

資料 No. 4 - 2 - 1、資料 No. 4 - 2 - 2により、第12回耐震設計分科会でのコメントを受けた対応案について説明が行われ、本日のコメントを受け一部修文し、耐震設計分科会に諮ることとした。

主なコメントを以下に示す。

・3.2.2 検討用地震の選定で、「地震の選定・詳細調査に示す方法または、距離

減衰式に代表される経験的な方法を用いる」となっているが、より現実的に「距離減衰式に代表される経験的な方法等を用いる」に見直すこと。

- ・ 3.2.3.2 経験的な方法の解説で、「解放基盤表面相当の地盤に加え地盤基盤の条件に近い地盤における地震動観測記録を利用することによって」はより適切な記載に見直すこと。
- ・ 3.4 基準地震動 S_s の策定で、断層モデルが応答スペクトルを上回る場合は、計算により求まる地震波形をそのまま設計に用いることができるとあるが、断層モデルも含め全て包絡して設計応答スペクトルとするケースもあるので、修正のこと。また不確かさに対する記載が、経験的な方法と断層モデルで異なっているので整合を図れないか検討すること。

(3) 改訂指針案と J E A G 改定案の対応について

資料 No.4 - 3 により、改訂指針案と J E A G 改定案の対応について説明が行われ、本検討会として、国の改訂指針案に対しパブコメしないことが出席者全員の賛成で了承された。

以 上